



このところの寒さで大寶寺の紅葉も真っ盛り。境内も銀杏の絨毯で真っ黄色に。撮影日 H19. 11. 27



佛名会のご案内

〒915-0823 福井県越前市本町10-2 親縁山 大寶寺 TEL/FAX (0778) 22-1682

平地でも紅葉の盛りが過ぎ、いよいよ冬が到来しようという今日この頃、いかがお過ごしでしょうか。今年はお天候が二ヨ現象が発生しているため、雪が多くなり、予報もありませんが、あまり雪が多くなり、今年も例年のように十二月十五日、十六日の両日にかけて佛名会をつとめます。今年第一日目には敦賀市杉橋の渡辺俊祐上人に、二日目には越前市文室の正高寺の堀立熙上人に回向とご布教をいただく予定です。佛名会にお参りいただき、ご先祖のご供養をし、また、ご自身の今年一年の罪業をお念仏によつて洗い流していただきますようご案内申し上げます。



佛名会では、塔婆にご先祖の法名を書き、節つきの回向をして供養します。

写真左 H18. 12. 16



佛名会では本堂の外陣を幕で囲んで寒さを防ぎます。

写真右 H18. 12. 17

大寶寺 佛名会ご案内

○十二月十五日(土)

午前九時半より

塔婆回向

布教

夜は座敷にて別時念仏

○十二月十六日(日)

午前九時半より

塔婆回向

布教

浄焚会(午前十一時より)

布教・回向師

15日敦賀市杉箸 養福寺

16日越前市文室 正高寺

堀立熙上人

渡邊俊祐上人



浄焚会(お焚きあげ)のご案内



12月16日佛名会の終了後11時頃に浄焚会をとり行います。古い戒名札やお位牌、お経の本、木魚など一般のゴミとして処分することが求められる物品を、ご供養をした上で

お焚きあげをします。ご希望の方は当日、帳場にお持ちいただくか、当日までに寺にお預けください。ご供養は無料です。



佛名会塔婆回向のお勧め

佛名会では各家先祖代々また先になくなられた方々の塔婆回向をいたします。回向料は、一霊につき六百円です。別紙申込用紙にご法名をご記入の上、帳場にてお申込みください。

なお、武生地区の檀信徒の皆さまには、昨年通り、寺からご回向を頂いている霊位の一覧(黄色A5判)をお配りいたします。住職がお申込みを頂きにうかがいますので(12月5日以降)、変更などご希望の場合にはそのときにお申し出ください。

濁中蓮華 濁った世間に咲く蓮の花の意

布施のつとめ 人の食べ物の多くは動物や植物が原料である。つまり、人は動物や植物の命を奪うことで自らの命をつないでいる。すなわち、人は動物や植物の命の布施のおかげで生きているということだ。

人は死ぬことで、他の動植物に布施の恩返しができる。土葬であれば地中の微生物などによって屍は分解され、火葬であれば、大部分は気体としていったんは空中に舞い上がるが、やがて命の輪廻の中に取り込まれる。死は人にとつての最後の布施なのだ。

我々の体は、水分を除けば主にタンパク質や脂肪などの有機物でできている。いくら丈夫で長持ちするとはいえず、人間の体がロボットのように、プラスチックや金属でできていれば困ったことにならない。燃やせば有毒ガスが発生し、埋めても容易に分解しない。人の体が自然に分解される性質をもっていればこそ、他の生物に対する布施が可能になるのだ。

屍を野生のハゲタカに施す鳥葬とよばれる葬り方がチベットにある。最近、気になることがある。鳥が遺体を食べないことがあるというのだ。どうも、体内に残留した抗生物質などの薬品、食品添加物や農薬などの化学物質が原因らしい。

「死によつて体を自然に返すこと」はいわば命あるものすべてに課せられた最後の布施といえるが、このことすら、ままならないとすれば、人類はいつか大きなしっぺ返しを受けるのではないか。

トピックス

湯尾浄土寺にて別時念仏会

10月25日(木)



堂内の照明を消して、ご本尊前の□ウソクの明かりの中でみなさん一緒に礼拝と念仏をしました。

福井県浄土宗仏教青年会主催の別時念仏会が、僧侶5名、また浄土寺の檀家20名余りと大寶寺のお講さんのメンバー4名が参加して、10月25日の午後7時から湯尾の浄土寺にて開催されました。秋の夜長のひと時、浄土寺の堂内はお念仏の声が響き渡りました。

坂井市三国町廻代寺の吉水善朗上人の楽しく、また心に響くお話を頂きました。



おじいちゃんといっしょに、寒い冬を乗り切るのに良いといわれるあずきがゆの小豆粥を頂きました。



一昨年の五重相伝などでおなじみの清水上人から、解りやすくなるお話を頂きました。

十夜会法要

11月14日(水)、15日(木)

雷が鳴ったり、あられが降ったりと前日まで続いた荒天もおさまり、穏やかな晩秋の天候に恵まれ、恒例の十夜法要会が当山にていとなまれました。今年南越前町赤萩の善導院の清水涼裕上人にご法話を頂きました。また、15日夜の法要の後には、参詣者に境内でとれた丹波栗の入った小豆粥がふるまわれました。

里親募集中

インド仏心寺を支援する会
理事長 福井市泉通寺住職 加藤光昭
里親担当理事 敦賀市専安寺 吉水祥鳳

今、IT産業では世界のトップに立つといわれる大国インド。しかし、インドの北方、お釈迦様が悟りを開かれたブダガヤには、学校に行きたくても行けない貧しい家庭の子ども達が沢山います。そんな子ども達のために、カーリーテンプルとして建てられた仏心寺では、チルドレンスクールを開いています。定員は50名です。彼らが、せめて3年間は学校に通い、生きていくために最低限必要な読み書きや、一般教養などを身につけて欲しいとの思いから里親制度を始めました。

一年間にかかる費用は、子ども一人につき、一万円です。先生の給料をはじめとして、文具代、制服、おやつ代などもここから賄われます。一年間里親になることで、子ども達の夢を紡ぐお手伝いをしてみませんか。きらきら光る目の輝きと人懐こい笑顔が、あなたを待っています。



仏心寺(カーリーテンプル)とは

仏心寺は八日市市にある福命寺の住職、内田卓也上人が1981年から3年間ブダガヤの日本寺に滞在僧として勤務していたことが縁で建立されました。内田氏は在職中、積極的に村人と交流を重ねましたが、帰国を前にお礼に約300名の村人にカーリーを振る舞い、盛大なパーティを開きました。16年後、内田氏に感化を受け、今は成人となったある人物から、地元の人たちと日本人が交流できるお寺を建ててほしいという依頼が彼に届きました。こうして通称カーリーテンプル、仏心寺ができました。



現在、仏心寺はインド政府公認の慈善信託の許可を得て、現地スタッフ4名の人たちによって管理されています。この施設は慈善を目的としていますので、宿泊料金は基本的に無料です。運営は喜捨(布施)によってなされています。

○ チルドレンスクール

一年間里親募金 10,000円

○ 仏心寺支援年会費 10,000円

協賛年会費 5,000円

詳しくは大寶寺住職、吉田悦應にお問い合わせ下さい。連絡先 (0778) 22-1682

携帯電話 09097627745

http://www.zu.biglobe.ne.jp/~curry300

にカーリーテンプルの情報がありません。